○水生生物モニタリング調査結果一覧（阿武隈川河口沖Ｋ）

＜阿武隈川河口沖Ｋ　水質底質採取項目＞

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質（Cs）	水質（Sr）	底質（Cs）	底質（Sr）
Ｋ－３	○	○	○	○	○	○

＜阿武隈川河口沖Ｋ　現場測定項目＞

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
	緯度	経度	日	時刻（水）	時刻（泥）	水温（℃）	泥温（℃）	性状	色相	混入物	全水深（m）	透明度(m)
Ｋ－３(表層)	38.0458°	140.9518°	H30.8.22	09:01	09:21	24.9	19.8	砂混シルト	5Y3/2	なし	20.5	5.0
Ｋ－３(下層)				08:28		20.1						

＜阿武隈川河口沖Ｋ　一般分析項目・放射性物質分析項目　水質＞

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD	COD	DO	電気伝導率	塩分	TOC	SS	濁度	Cs-134	Cs-137	Sr-90
	緯度	経度	日	時刻		(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mS/m)		(mg/L)	(mg/L)	(度)	(Bq/L)	(Bq/L)	(Bq/L)
Ｋ－３(表層)	38.0458°	140.9518°	H30.8.22	09:01	8.1	1.2	3.2	8.2	4240	25.50	1.5	3	2.2	N.D.(0.0017)	0.0068	－
Ｋ－３(下層)				08:28	7.9	0.8	2.0	6.0	5030	33.78	1.1	5	3.6	N.D.(0.0015)	0.016	0.00082

注）N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜阿武隈川河口沖Ｋ　一般分析項目・放射性物質分析項目　底質＞

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 $E_{N.H.E}$ (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm^3)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0.85～2mm) (%)	中砂 (0.25～0.85mm) (%)	細砂 (0.075～0.25mm) (%)	シルト (0.005～0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
Ｋ－３	38.0458°	140.9518°	H30.8.22	09:21	7.7	273	34.3	4.8	7.6	2.703	0.0	0.2	0.2	32.2	54.7	12.7	0.058	4.8	22	230	N.D.(0.12)

注）N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜阿武隈川河口沖Ｋ　分析項目　水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
阿武隈川河口 周辺海域	阿武隈川河口 前面海域	－	－	H30.8.28	軟体動物	頭足	十腕形	ﾔﾘｲｶ	*Loliolus japonica*	ジンドウイカ	70	0.39	未成体	－	－	N.D.	N.D.(0.34)	N.D.(0.34)	－
					脊椎動物	硬骨魚	ｶﾚｲ	ｶﾚｲ	*Pleuronectes herzensteini*	マガレイ	1	0.35	成魚	空胃	内臓除去	0.44	N.D.(0.43)	0.44	－
					脊椎動物	硬骨魚	ｶﾚｲ	ﾋﾗﾒ	*Paralichthys olivaceus*	ヒラメ	2	2.8	未成魚/成魚	空胃	内臓除去	0.45	N.D.(0.31)	0.45	N.D.(0.018)
					脊椎動物	硬骨魚	ｽｽﾞｷ	ﾀｲ	*Evynnis japonica*	チダイ	1	0.32	未成魚	空胃	内臓除去	0.42	N.D.(0.28)	0.42	－

※１：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
※２：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
※３：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
※４：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、 内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、 除去して測定した。
※５：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μｍのプランクトンネットで漉した残留物を指す。
※６：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
※７：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
※８：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。